

有限会社山内バット製材工場

北海道中川郡本別町

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

北海道からバットの火を絶やさない 大手メーカーが信頼する検品と安定供給

北海道本別町に所在するバット用製材製造企業。かつて北海道に木製バット用原料が豊富にあったことから関連企業が約60社も存在したが、原料不足や海外メーカーとの競争等により淘汰され現在は3社まで減少。同社は「北海道からバットの火を絶やさない」という熱意のもと、社員全体の技術伝承を追求することで大手メーカーが求める品質・価格・納期を徹底的に守り抜き、国内唯一の素材供給拠点としてその地位を獲得。大手メーカー、プロ野球選手、野球少年、指導者等から高い評価を獲得し続け、プロ野球用バットの国内素材供給シェア約7割を誇る少数精鋭の職人企業。

- | | | | |
|----------|---------------------------|--------|---------|
| ● 所在地 | 北海道中川郡本別町北6丁目 | ● 設立 | 1962年 |
| ● 電話/FAX | 0156-22-5737/0156-22-3633 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | — | ● 従業員数 | 10人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 山内 淳一 | | |



担い手確保

ものづくり

大手メーカーが信頼を寄せる仕入れから製造まで徹底した検品と安定供給

国内外の原木市場で何千本と並べられた丸太の中から、1本1本木目や年輪、キズ等を見極めることで良質な原料を獲得。メーカーや製品によって異なる細かい基準に沿って原料選別、天然乾燥、加工を施し各社に供給している。

年間延べ10万本も生産される全製品に対して、工程ごとに徹底した検品を行うことで「確かな品質」と「安定供給」を実現し、プロ野球選手等にバットを供給する大手スポーツメーカーから高い評価を獲得している。



海外仕入の様子

若手からシニアまで高い能力水準を実現する人材育成

地元を中心に若手からシニア、女性までバランスよく人材を確保。採用面では、同社の事業内容や人材育成手法が口コミで広まっており、募集を出さずとも人材が集まる小規模企業の鑑。全社的に若手社員の育成に取り組み、原木の目利きや加工技術を先輩社員が丁寧に指導しているほか、海外での原料仕入を若いうちから1人で経験させる等、早期に高い能力を習得できる環境が整備されており、社員能力の平準化を確立。後継者育成にも注力しており、顧客とのネットワーク構築や経営ノウハウの伝承を社長とマンツーマンで実施中。後継者は廃材を活用した新事業を検討する等意欲的な承継を執行中である。



若手社員への原木目利き指導の様子

社員の質的向上を引き出す労働環境整備

利益は惜しみなく社員の給与に分配する経営を行っており、収益が向上した場合には、向上した分を翌年度の昇給に充てるなど社員の意欲向上に努めている。また、そうした経営手法から新規採用者の年収は同業種の平均年収を上回る水準が設定されている。

さらに残業が極力少なるような人事配置を行うとともに、年間有休取得数を最初から決めずに個人の希望に対して全て有休扱いにする独自の有休休暇制度を行うなど、社員が仕事だけでなく私生活も充実できるような環境を整備していることから中途退社もほとんどない。



若手社員への製品加工指導の様子